

つぎに、因果関係が明確でない例として、質問2を「日頃、食塩を控えるように注意していますか」に置き換えてみます。この場合、食塩摂取を注意していることが高血圧の予防になっているのか、血圧が高いため食塩を控えているのか、因果に両方向がありえます。これは断面調査の限界です。この場合はクロス表を作ること自体、意味がないことになります。また、項目間の関連性がもともと非因果的な場合もあります。たとえば、「毎日、運動していますか」と「食べ過ぎに注意していますか」という質問項目の間に因果関係は考えられません。両者の関連性は共通の要因（肥満対策の意欲など）から生ずるものとみられます。このとき縦横どちらにもパーセントを取ることができますが、この種のクロス表もあまり重要とはいえないものです。

表1 高血圧と家族歴のクロス表（仮想例）

		家族歴		計
		あり	なし	
高血圧 の 治療	あり	30(37.5)	20(16.7)	50
	なし	50(62.5)	100(83.3)	150
計		80(100)	120(100)	200

問 19 質問票では3区分の多肢選択回答形式のデータを解析する際、まとめた方が明確な結果が得られると思い2区分にしましたが、このようなことは許されるでしょうか。

(答) 表1の具体例で説明しましょう。これは運動がコレステロール値の改善に有効かどうかを調べたものです。改善の度合を3段階の区分(カテゴリーという)で示していますが、これを表2のように「やや改善」と「改善せず」を併合、あるいは、表3のように「改善」と「やや改善」を併合して2×2クロス表とし、関連性の検定などをしてよいかという質問です。

ここには2つの問題が含まれています。一つはカテゴリー併合の是非、もう一つはその場合に表2と表3のいずれの併合を採用すべきかということです。

まず、カテゴリーの併合についてですが、情報量という観点からは3区分の方が2区分より詳しいわけであえてまとめる理由もないのですが、一方、結果を読みとる際は、2区分の方が分かり易いこともあります。解析とは基本的に不要な情報を捨てることですから、2区分の情報で十分と思うならば併合してもよいといえます。また、2×2クロス表の関連性検定ならできるが、表1のような2×3クロス表の検定についてはよく分からないので併合したいという人もあります。この例のように、効果が順序データとして観察されている場合、通常、マン・ホイットニーの順位和検定を用いて、「毎日運動」群と「時々運動」群の改善効果の差を検定しますが、前述のようにカテゴリーを併合して2×2クロス表とし、いわゆる、カイ二乗検定を適用することに問題はありません。

さて、第2の問題点ですが、得られた結果について、様々な工夫(カテゴリーの併合もその一つ)をこらし解析することはいうまでもなく大切なことです。この例でいえば、運動の効果を分かりやすく示すためにカテゴリー併合することです。

表2は、はっきりした改善のみを捉える併合であり、表4の方は僅かな改善にも注意を払った併合といえますが、どちらを採用するかは研究のねらい如何によるわけです。ところがしばしばみられるのは、両方の併合を試み検定結果が有意になったものを採用する、すなわち、有意になるように併合するというものです。この例では表2は関連性の検定で有意になり、表3の方は非有意になりました。そこで、表2の結果表のみを提示すると

というのは適切ではありません。結果の得られる前にカテゴリー併合の方針が定めておくべきですし、結果が得られた後でも探索的に併合を試みることはよいでしょうが、結果をみて有意になるように併合することは、正しい確率計算になりません。統計学では一般に、結果が得られてから操作を加え、あたかも事前に操作してあったかのように解析して結果を解釈することを”後知恵”あるいは”後付け解析”と呼んで戒めています。

表1 運動のコレステロール値への効果

	コレステロール値			計
	改善	やや改善	改善せず	
毎日運動	15	28	6	49
時々運動	5	29	13	47

表2

	コレステロール値		計
	改善	その他	
毎日運動	15(31%)	34	49(100)
時々運動	5(11%)	42	47(100)

$\chi^2 = 4.65$ (5%有意)

表3

	コレステロール値		計
	改善あり	なし	
毎日運動	43(88%)	6	49(100)
時々運動	34(72%)	13	47(100)

$\chi^2 = 2.69$ (非有意)

問 20 回答結果について%をとるときの分母の扱い方について教えて下さい。

(答) パーセントとは比の値に 100 を乗じたものをいいます。100 を乗ずるか
どうかは比を見やすくするために、本質的なことではありません。場合によ
っては 1000 を乗ずることもあれば、10 万を乗ずることもあります。問
題は何のために比で表わすのか、そのときの分母、分子はどのように考
えるのか、ということです。比のねらいは分子から分母の大きさ影響を除く
ためです。たとえば、死亡率は分子である死亡数から人口規模を揃えてそ
の影響を除いて死亡の度合を比べるものです。したがって、何を分母にす
るかということ、その影響を除きたいものを採用する、ということになりま
す。

比も分子、分母の性格により様々なものがありますが、ここでは断面調
査の結果の解析において主として算定される比、“割合”を取り上げるこ
とにします。割合とは、対象全体に占める特定の性質をもつものの比で、
分母は対象数、分子は特定のものの数です。そこで、分母を有効回答数と
するか、不明などを除くべきか、は対象をどのように考えるかによるとい
えます。形式的にどちらがよいということにはなりません。“不明”の数が
著しく多いとき（おそらく設問に難点があるため）、これを無視して分
母から除くのは適切でないでしょう。一方、“不明”がごくわずかであれ
ば、除いても除かなくても結果は大差ないでしょうからあまり問題になり
ません。

問 21 予想に反する結果、異常と思われる値が得られたとき、どのように考えて対応すればよいのでしょうか。

(答) 一般論としてお答えすれば、確証的研究において著しく予想に反する結果が得られたら、おそらく調査のどこかに欠陥があったと考えるのが普通です。立てた仮説には十分な根拠（他の研究など様々な情報に基づいて科学的に推論したはずのものだから）があるはずですから、それから著しくはずれた結果が得られることは通常考え難いのです。調査の欠陥では、調査対象の特殊性、回収率の低さ、質問文の不適切などに基づくバイアスの混入がもっとも重大です。一方、探索的研究ならば、調査の欠陥と考える以外に、新しい仮説の発見という期待もありますから、予想に反した結果は大事にしなければなりません。

< 図表の書き方 >

問 22 数値で表わすものと図表で表わすものをどう使い分けたらよいでしょうか。

(答) 統計図表の利点は統計値のもつ情報が一目で分かることで、数値情報の正確さを多少犠牲にしても明確性を優先するものです。したがって、どうしても正確な数値を示したい(たとえば、対象集団の総数など、行政上の意味があるもの)場合は統計数値が重要になります。一方、統計値のおおよその比較や傾向は図表現の方が優れています。調査研究などで、とくに重要な結果は目につき易いように図表現を採用すべきでしょう。この場合も何を意味するのか、頭をひねるような図表現は適切といえません。もう一点大切なことは、錯覚を起こさせないということです。情報を誤りなく伝えることは、統計の基本なのです。

問 23 棒図表や線図表などの統計図表を画く際に、目盛りにカットを入れる
ことがあります。その方式に一定のきまりがあるのですか。

(答) 棒図表の目盛りカットについて説明しましょう。棒図表は統計値を棒の高さで表現するものです。そのためには棒は基線と呼ばれる横軸から立てねばなりません。この基線には0の目盛りがつけられますので、零線とも呼ばれます。

棒図表で目盛りにカットを入れて、棒の高さの差を拡大し、目を引く図を画くことはしばしば行なわれます。しかし、いくら関心を集めたいといっても、錯覚を起こさせるような図は絶対に避けなければいけません。棒図表においてよく見かけるのは、零線がない、すなわち、横軸の目盛りが0でないもの、あるいは、縦軸の目盛りのみにカットを入れ、棒にカットが入っていないものです。見る方は棒図表は基線上にあると思っていますから、いずれも錯覚を起こす可能性があります。目盛りを見ない方が悪い、などといっははいけません。統計図表は他人に情報を伝えるためのものです。

次に線図表について説明します。線図表は隣合った点どうしを線で結び、その全体の傾向の形を読みとるものです。その点には並び順（ここでは年次順）があつてはじめて、全体の傾向パターンに意味が生じます。一方、個々の点の高さ（縦座標）の方は、さほど重視しません。図は重要な情報が目立つように画くものです。ここでは縦軸の目盛りをカットしても傾向パターンは変わらないので、図のように目盛りのみのカットで十分なのです。

< 調査の信頼性と妥当性 >

問 24 調査の信頼性と妥当性とは何を指すのですか。どのような要件が満たされていけばよいのですか。

(答) 信頼性とは誤差が少ないこと、すなわち、再現性があることです。すでに述べたように、誤差には標本誤差と非標本誤差があり、標本誤差は信頼区間などで保証することができます。一方、非標本誤差は回収率の低さ、虚偽の回答、集計ミスなどで、確率論を用いてこれを推定することはできません。しかもこの誤差はバイアスになる可能性が強く、その対応はなかなか難しいものです。調査の信頼性は主として非標本誤差によって決まると考えればよいと思います。

妥当性は調査のねらいどうりのものになっているか、ということです。それには調査目的が明かであればなりません。そして、目的にそって対象集団や調査項目が選択されているかどうかの問題になります。解析の妥当性も問題になります。たとえば、年齢調整死亡率で集団の公衆衛生水準をくらべるべきを、粗死亡率を用いるなどは妥当性を欠くものといえますが、これはやり直しがききますから致命的なものにはなりません。

地域保健における保健婦の機能・役割
と資質向上に関する研究

発行日	平成12年3月
主任研究者	丸山美知子
発行所	国立公衆衛生院 公衆衛生看護学部

19990792 (第)

都道府県保健所の保健婦研修実施状況

平成11年度

地域保健における保健婦の機能・役割と資質向上
に関する研究

主任研究者 丸山美知子

はじめに

地域保健対策の推進にあたっては人材の資質向上が重要であることから、地域保健法では保健所の機能強化として教育・研修機能を位置付けている。

平成12年3月の基本指針の改正では、人材の資質向上のため都道府県と市町村が職員に対する研修の企画および調整を一元的に行う体制整備や保健所の研修体制、外部機関との役割分担など、より具体的な内容となっており。

保健婦の現任教育は、保健婦の活動形態が業務分担制となり、また、保健婦の配置も分散されるなど組織・体制上からも、これまでの現任教育方法とは違って、新たに保健婦現任教育について検討する必要がある。

特に、地域保健法で強化された機能に対する保健婦の資質向上に関する研修体系化が重要と考える。

平成11年度の厚生科学研究「保健婦の教育・研修企画機能の資質向上に関する研究」において、都道府県保健所の研修企画担当保健婦を対象に保健所における研修企画の実施状況の調査を実施した。その調査の一つとして保健所が実施している保健婦研修の実態把握も行った。

調査結果から、研修企画担当保健婦の要望として全国的な研修状況等に関する情報が多いことや、研修の体系化や研修企画の検討において、情報の共有化が重要であることから「都道府県保健所の保健婦研修実施状況」をまとめ冊子にした。

なお、掲載している保健所については、調査回答があった保健所269所のうち、調査時に掲載することを知り解していただいた保健所のみとし、無記名で都道府県別に記載している。

掲載内容は、研修テーマ、ねらい、研修対象、研修科目、講師、研修方法、評価方法などである。

記述回答の項目については、判読が不十分で掲載内容に誤り等がある場合には事前にお断り申し上げる。

平成12年3月

平成11年度厚生科学研究

地域保健における保健婦の機能・役割に関する研究

主任研究者 丸山美知子

都道府県	頁	都道府県	頁	都道府県	頁
北海道	1	石川県	77	岡山県	143
青森県	12	福井県	79	広島県	145
岩手県	17	福井県	79	山口県	146
宮城県	20	山梨県	84	徳島県	148
秋田県	24	長野県	87	香川県	149
山形県	27	岐阜県	93	愛媛県	154
福島県	32	静岡県	97	高知県	156
茨城県	35	愛知県	104	福岡県	160
栃木県	39	三重県	114	佐賀県	164
群馬県	45	滋賀県	120	長崎県	169
埼玉県	55	京都府	122	熊本県	178
千葉県	58	兵庫県	128	大分県	182
東京都	65	奈良県	133	宮崎県	183
神奈川県	66	和歌山県	137	鹿児島県	186
新潟県	71	鳥取県	138	沖縄県	189
富山県	76	島根県	140		

表の読み方

種別(A)領域(複数回答)

1. 機能別領域

- ①計画策定に関すること
- ②情報分析に関すること
- ③調査研究に関すること
- ④研修企画に関すること
- ⑤地域ケアコーディネーションに関すること
- ⑥健康教育に関すること

2. 業務別領域

- ⑦精神保健に関すること
- ⑧難病に関すること
- ⑨結核に関すること
- ⑩エイズに関すること
- ⑪母子保健に関すること
- ⑫老人保健に関すること
- ⑬栄養指導に関すること
- ⑭運動指導に関すること
- ⑮歯科保健に関すること

種別(B)形式

- ⑯集合研修
- ⑰研究会
- ⑱打ち合わせ会議

左上に記述している「〇〇-〇〇」は「都道府県番号-通し番号」

平成11年度 保健婦の研修実施状況(予定を含む)

01-01

No	研修テーマ	ねらい	研修対象A	研修対象B/C	定員	期間	研修科目	講師	所属	方法	評価方法	種別(A)	種別(B)	予算
1	保健所管内保健婦研修会 (第1回)	最近の知識・情報を得て保健婦業務の質の向上を図ると共に、市町村・関係機関との連携強化を図り保健活動を推進する。	A保健所保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般	B市町村保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般 C他職種と合同	60	1日間 年4回	①保健行政の動向 ②成人歯科保健について	①真本晃一 ②山口昌子	①②保健所	①講義 2演習 3併用 4その他	1レポート ②アンケート 3観察 ④意見/感想 5その他	⑬	⑬	無
2	(第2回)	同上	A保健所保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般	B市町村保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般 C他職種と合同	同上	同上	①研究発表 ②健康教育の評価について	①重村 孝子 中村 秀恒 広島 孝 ②中村 秀恒	①高等看護学院・帯広保健所 ②保健所	1講義 2演習 3併用 ④その他	1レポート ②アンケート 3観察 ④意見/感想 5その他	⑬⑭	⑬	無
3	(第3回)	同上	A保健所保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般	B市町村保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般 C他職種と合同	同上	同上	子育て支援について考える	小森 明美 中岡 星子 堀切 雪江	保健福祉センター 子育て支援システム	①講義 ②演習 3併用 4その他	1レポート ②アンケート 3観察 ④意見/感想 5その他	⑮ ⑪	⑮	無
4	(第4回)	同上	A保健所保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般	B市町村保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般 C他職種と合同	同上	同上	心理劇、家族造形法のワークショップ	堤 茂樹	児童相談所	①講義 ②演習 3併用 4その他	1レポート ②アンケート 3観察 ④意見/感想 5その他	該当無し	⑮	無
5	保健所新生保健婦研修会 (第1回)	地域保健活動の現状と課題を知り地域の特性を把握する。ひいてはHC・支所と市町村が共通認識のもとでその向上に努められる。	A保健所保健婦 ①初任者 2中堅者 3主任者 4全般	B市町村保健婦 ①初任者 2中堅者 3主任者 4全般 C他職種と合同	13	1日間 年2回	地域保健活動の特性と課題など	片岡 俊之 国田 松博 岩田 了 武藤 沖子	保健所	①講義 ②演習 3併用 4その他	①レポート 2アンケート ③観察 ④意見/感想 5その他	⑮	⑮	無
6	(第2回)	同上	A保健所保健婦 ①初任者 2中堅者 3主任者 4全般	B市町村保健婦 ①初任者 2中堅者 3主任者 4全般 C他職種と合同	同上	同上	各自の実践を発表	今井 孝子等 (保健所・支所 保健婦)	保健所	①講義 ②演習 3併用 4その他	①レポート 2アンケート ③観察 ④意見/感想 5その他	⑮	⑮	無

01-02

1	年間事業のすすめ方、情報交換、研修会のすすめ方の検討	お互いの実情を理解し、評価しあい、連携・調整をおこなう。	A保健所保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般	B市町村保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般 C他職種と合同	1日間	—	—	1レポート 2アンケート 3観察 ④意見/感想 5その他	①~⑥ ⑦~⑮	⑩	無
2	中堅保健婦研修(中堅前期)	中堅PHNとしての課題到達像の理解と自己評価をおこない、達成のための方法を考える。	A保健所保健婦 1初任者 ②中堅者 3主任者 4全般	B市町村保健婦 1初任者 ②中堅者 3主任者 4全般 C他職種と合同	1日間 年3回	—	—	1レポート 2アンケート ③観察 ④意見/感想 5その他	②③⑤⑥	⑩	無
3	中堅保健婦研修(中堅後期)	中堅後期の課題到達像の理解と、係長補佐の役割の理解、達成方法を検討する。	A保健所保健婦 1初任者 ②中堅者 ③主任者 4全般	B市町村保健婦 1初任者 ②中堅者 ③主任者 4全般 C他職種と合同	1日間 年1回	—	内藤靖子 係長補佐業務について	1レポート 2アンケート 3観察 ④意見/感想 5その他	①②③④ ⑤⑥	⑩	無
4	新任研修	新任PHNの役割、発達課題を理解し、達成方法を考える。	A保健所保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 4全般	B市町村保健婦 ①初任者 2中堅者 3主任者 4全般 C他職種と合同	1日間 年1回	—	—	1レポート ②アンケート 3観察 ④意見/感想 5その他	②③⑤	⑩	無
5	財政研修	自治体の財政状況の理解 ・財政のしくみを理解し、事業の企画に役立てる。	A保健所保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般	B市町村保健婦 1初任者 2中堅者 ③主任者 ④全般 C他職種と合同	1日間 年1回	—	久々江主任 地方財政のしくみ、地方交付税、地方債について	1レポート 2アンケート 3観察 ④意見/感想 5その他	①②	⑩	無
6	管内係長・主査会議研修	情報交換 ・連絡調整 ・現任教育のすすめ方の検討 ・係長としての指導力を身につける	—	—	1日間 年4回	—	—	1レポート 2アンケート 3観察 ④意見/感想 ⑤その他	③④⑤	⑩	無

01-03

1	これからの保健婦活動に期待すること	行政に働く保健婦の役割を知る	A保健所保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般	B市町村保健婦 1初任者 2中堅者 ③主任者 ④全般 C他職種と合同	1日間	39	内藤靖子 保健所管内保健婦研究会	道保健福祉部 地域医療課主幹	①②③	⑩	有り 1国 ②県 3HC	
								1レポート 2アンケート ③観察 ④意見/感想 5その他				

2	乳児の発達について一乳児の月齢別チェックポイント	乳児の運動発達の特徴を学ぶ	A保健所保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般	B市町村保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般 C他職種と合同	39	1日間	保健所管内 保健婦研修 会	①榎井直文 ②谷藤弘知	①江別市立病院小児科部長 ②江別市心身障害児通園施設「あゆみ園」作業療法士	①講義 ②演習 3併用 4その他	1レポート 2アンケート ③観察 ④意見/感想 5その他	⑪	⑫	有り 1国 ②県 3HC
3	①これからの健康づくり ②痴呆の理解	①「健康日本21」を知る ②痴呆の問題行動や日常生活での対応を知る	A保健所保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般	B市町村保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般 C他職種と合同	39	1日間	保健所管内 保健婦研修 会	①大見広規 ②藤枝俊機	①北海道江別保健所所長 ②北海道立精神保健福祉センター調査研究部長	①講義 2演習 3併用 4その他	1レポート 2アンケート ③観察 ④意見/感想 5その他	⑬	⑭	有り 1国 ②県 3HC
4	精神障害者のケアマネジメント	精神障害者のケアマネジメントの意義を確認し、アセスメントからケア計画までの実際を学ぶ。	A保健所保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般	B市町村保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般 C他職種と合同	50	1日間	中央ブロック保健所保健婦 研修会	門屋充郎	帯広ケアセンター 所長	①講義 ②演習 3併用 4その他	1レポート 2アンケート ③観察 ④意見/感想 5その他	⑮	⑯	有り 1国 ②県 3HC

01-04

1	研究することの意義と効果、保健婦活動のすすめ方(管内保健婦研修会)	事業評価への研究方法の活用を学ぶ	A保健所保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般	B市町村保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般 C他職種と合同	HC管内 保健婦 全員	2日間 年2回	—	佐伯和子	札幌医科大学 保健医療学部 看護学部	①講義 2演習 3併用 4その他	—	⑰	⑱	無
2	高齢者の自立にむけた支援のあり方(管内保健婦研修会)	要介護認定において非該当と判定された者の生活上困ることを明らかにする	A保健所保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 4全般	B市町村保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般 C他職種と合同	支援センター 保健婦	10日間 年10回	同上	同上	同上	1講義 2演習 3併用 ④その他	①レポート 2アンケート 3観察 4意見/感想 5その他	⑲	⑳	無
3	保健事業計画書の活用の実態に関する研究(管内保健婦研修会)	活用される計画書とは何か、有効活用を目指して県内の市町村を調査した。	A保健所保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般	B市町村保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般 C他職種と合同	本テーマに関心のあ る PHN	10日間 年10回	—	同上	同上	1講義 2演習 3併用 ④その他	①レポート 2アンケート 3観察 4意見/感想 5その他	㉑	㉒	無
4	保健事業における機能訓練事業参加者の状況とQOLに関する調査(管内保健婦研修会)	現行のリハビリ事業を見直すために、中断者も含めて、参加者の状況とQOLについて調査する。	A保健所保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般	B市町村保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般 C他職種と合同	同上	14日間 年14回	—	同上	同上	1講義 2演習 3併用 ④その他	①レポート 2アンケート 3観察 4意見/感想 5その他	㉓	㉔	無

5	HC管内の在宅 酸素療法患者の 実態調査と今後 の支援の検討 (管内保健婦研 修会)	管内のHQT患者の身体 状況や生活実態、QOL などについて現状を把握 し、今後必要とされる支 援について検討する。	A保健所保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般	B市町村保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般 C他職種と合同	同上	同上	10日間 年10回	—	同上	同上	1講義 2演習 3併用 ④その他	①レポート 2アンケート 3観察 4意見/感想 5その他	⑨⑫	⑰	無
6	在宅ケアを支える 介護者への支援 (管内保健婦研 修会)	在宅療養者の介護家族 の介護負担を調査し、特 に精神面の健康に関す るニーズを明らかにし、支 援を考える。	A保健所保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般	B市町村保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般 C他職種と合同	同上	同上	9日間 年9回	—	同上	同上	1講義 2演習 3併用 ④その他	①レポート 2アンケート 3観察 4意見/感想 5その他	⑫	⑰	無
7	グレーゾーン児を 持つ母親の気 持ち(管内保 健婦研修会)	グレーゾーン児の母へ のアプローチの限界を感 じ、母の気持ちを持ち 直す。母の気持ちで支 援に活かす。	A保健所保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般	B市町村保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般 C他職種と合同	同上	同上	13日間 年13回	—	同上	同上	1講義 2演習 3併用 ④その他	①レポート 2アンケート 3観察 4意見/感想 5その他	⑪	⑰	無
8	新任保健婦研 修会	事例検討会	A保健所保健婦 ①初任者 2中堅者 3主任者 4全般	B市町村保健婦 ①初任者 2中堅者 3主任者 4全般 C他職種と合同	新任 保健 婦	保健所職員	3日間 年2回	—	—	—	1講義 2演習 ③併用 4その他	1レポート 2アンケート 3観察 ④意見/感想 5その他	⑬	⑰	無

01-05

1	痴呆老人研 修会	痴呆の疾病理解とその 対応についてチームとし てのかわりを学ぶ	A保健所保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般	B市町村保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般 C他職種と合同	田辺 等	北海道精神保 健福祉センタ 指導部長	1日間 年1回	—	同上	同上	1講義 2演習 ③併用 4その他	1レポート 2アンケート 3観察 ④意見/感想 5その他	⑤ ⑦	⑰	有り 1 国 2 県 ③ HC
2	来所・電話等 相談に関する 研修会	限られた回数・時間の中 での相談の対応	A保健所保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般	B市町村保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般 C他職種と合同	藤枝 俊儀	北海道精神保 健福祉センタ 精神科医	1日間 年1回	—	同上	同上	1講義 2演習 ③併用 4その他	1レポート 2アンケート 3観察 ④意見/感想 5その他	⑤ ⑦	⑰	有り 1 国 2 県 ③ HC
3	糖尿病推進事 業打合せ会議	糖尿病対策事業につい て、内容・すすめ方を検 討する。	A保健所保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般	B市町村保健婦 1初任者 ②中堅者 3主任者 4全般 C他職種と合同	なし	—	1日間 年2回	—	—	—	1講義 2演習 3併用 ④その他	1レポート 2アンケート ③観察 4意見/感想 5その他	①②③⑥ ⑫⑬	⑰	無

4	機能訓練事業 担当者会議	各町で実施する機能訓練事業を評価する	A保健所保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般	B市町村保健婦 1初任者 ②中堅者 3主任者 4全般 C他職種と合同	各町の担当者	1日間 年1回	—	中川原 剛	北海道渡島保健所	①講義 2演習 3併用 4その他 意見交換	1レポート 2アンケート 3観察 ④意見/感想 5その他	①②⑥	⑫	無
5	作業所での精神障害者への対応	町村の保健婦が精神障害者への対応を理解する	A保健所保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般	B市町村保健婦 1初任者 ②中堅者 3主任者 4全般 C他職種と合同	各町の担当者又はリーダー	1日間 年1回	—	中川原 剛	北海道渡島保健所	①講義 2演習 3併用 4その他	1レポート 2アンケート 3観察 ④意見/感想 5その他	⑦	⑮	無
6	ケアファレンスの持ち方について	介護保険の中で、ケアプラン作成・ケアファレンスを円滑にすすめる。	A保健所保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般	B市町村保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般 C他職種と合同	限定せず	1日間 年1回	—	縄井 詠子	北海道滝川保健所	1講義 2演習 ③併用 4その他	1レポート 2アンケート 3観察 ④意見/感想 5その他	⑤ ⑫	⑮	有り 1 国 2 県 ③ HC

01-06

1	介護保険と保健婦活動	管内各町における成人・高齢者保健活動の位置づけを確認し、介護保険と保健婦活動について考える。	A保健所保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般	B市町村保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般 C他職種と合同	25	1日間 年1回	—	—	—	1講義 ②演習 3併用 4その他	1レポート 2アンケート 3観察 ④意見/感想 ⑤その他	⑤ ⑫	⑮	無
2	成人保健活動のすすめ方	自分の町の課題をみつける手がかりとして「保健計画」のプロセスを学ぶ	A保健所保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般	B市町村保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般 C他職種と合同	25	1日間 年1回	—	石田 富美子	北海道門別町役場	1講義 2演習 ③併用 4その他	1レポート 2アンケート 3観察 ④意見/感想 ⑤その他	①⑤	⑮	有り 1 国 ② 県 3 HC
3	母子保健体系の中での子育て支援	他地域実践を学び、体系的な母子保健活動を考える。	A保健所保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般	B市町村保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般 C他職種と合同	30	1日間 年1回	①子育てネットワークの現状と課題 ②静内町における母子保健計画と「あそびの会」の展開	①鶴田 剛 ②皆川 信子	①静内児童養育相談センター ②静内町	1講義 2演習 ③併用 4その他	1レポート 2アンケート 3観察 ④意見/感想 ⑤その他	①⑤⑥	⑮	有り 1 国 ② 県 3 HC
4	最近の地域保健をめぐれる情勢	最近の情勢を知り、活動に役立てる。	A保健所保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般	B市町村保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般 C他職種と合同	25	1日間 年1回	最近の地域保健をめぐれる情勢	山本 長史	浦河保健所	1講義 2演習 ③併用 4その他	1レポート 2アンケート 3観察 ④意見/感想 ⑤その他	①	⑮	無

5	新任保健婦研修会	管内の公衆衛生看護活動及び保健婦活動を知らせる	A保健所保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 4全般	B市町村保健婦 ①初任者 2中堅者 3主任者 4全般 C他職種と合同	2	2日間 年1回	—	—	—	1講義 2演習 3併用 4その他	①レポート ②アンケート 3観察 ④意見/感想 5その他	⑤	⑮	無
6	2年目保健婦研修会	自己研修課題の明確化と解決方法を考える	A保健所保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 4全般	〇B市町村保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 4全般 C他職種と合同	3	1日間 年1回	—	—	—	1講義 2演習 3併用 4その他	①レポート ②アンケート 3観察 ④意見/感想 5その他	⑤	⑮	無
7	3年目保健婦研修会	住民ニーズを把握した優先順位に応じた活動を考える	A保健所保健婦 ①初任者 2中堅者 3主任者 4全般	B市町村保健婦 ①初任者 2中堅者 3主任者 4全般 C他職種と合同	2	1日間 年1回	—	—	—	1講義 2演習 3併用 4その他	①レポート ②アンケート 3観察 ④意見/感想 5その他	⑤	⑮	無
8	中堅保健婦研修会	地域の健康課題の把握と活動計画について考える	A保健所保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 4全般	B市町村保健婦 ①初任者 2中堅者 3主任者 4全般 C他職種と合同	4	1日間 年1回	—	—	—	1講義 2演習 3併用 4その他	1レポート ②アンケート 3観察 ④意見/感想 5その他	⑤	—	無

01-07

1	痴呆の理解と家族支援について(管内保健婦研修会)	①痴呆の診断・症状、治療について学ぶ ②早期に本人と家族に支援する方法を学ぶ ③関係機関との調整においてマネジメント能力を養う	A保健所保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般	B市町村保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般 〇C他職種と合同	40	1日間 年1回	—	谷内弘道	旭川医科大学 医学部附属病 院精神科神経 科	①講義 2演習 3併用 ④その他	1レポート ②アンケート 3観察 4意見/感想 5その他	⑤	⑦	有り 1国 2県 ③HC
2	生涯を通じた女性の健康支援事業について	①管内の中高年女性の健康課題を明らかにする ②中高年女性の健康課題に応じた支援が展開できる	A保健所保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般	B市町村保健婦 1初任者 2中堅者 3主任者 ④全般 〇C他職種と合同	40	1日間 年1回	—	松崎登	市立稚内病院 産婦人科	①講義 2演習 3併用 ④その他	1レポート 2アンケート 3観察 ④意見/感想 ⑤その他	⑤⑥	⑪	有り 1国 2県 ③HC
3	管内新任保健婦研修会	行政組織の一員として専門職として働くことができる	A保健所保健婦 ①初任者 2中堅者 3主任者 4全般	B市町村保健婦 ①初任者 2中堅者 3主任者 4全般 C他職種と合同	9	2日間 年1回	—	—	—	1講義 ②演習 3併用 4その他	1レポート ②アンケート 3観察 ④意見/感想 5その他	②⑤	—	無

01-08

1	保健分野他職種の専門性の理解を深め協働し事業の推進を図る	他職種をまとめるリーダーが他職種の役割・技術を知る	A 保健所保健婦 1 初任者 2 中堅者 3 主任者 ④ 全般 ○C 他職種と合同	B 市町村保健婦 1 初任者 2 中堅者 3 主任者 ④ 全般 ○C 他職種と合同	28	1日間 年1回	保健所管内 保健婦研修 会	保健所保健婦、歯科衛生士、町歯科衛生士	—	1 講義 2 演習 ③ 併用 4 その他	1 レポート 2 アンケート ③ 観察 ④ 意見/感想 5 その他	⑮	無
2	すこやかな高齢期を迎えるための保健活動を考える	保健分野と在宅介護支援センターとの連携を考える	A 保健所保健婦 1 初任者 2 中堅者 3 主任者 ④ 全般	B 市町村保健婦 1 初任者 2 中堅者 3 主任者 ④ 全般 ○C 他職種と合同	30	1日間 年1回	保健所管内 保健婦研修 会	各町在介センター担当者	—	1 講義 2 演習 ③ 併用 4 その他	1 レポート 2 アンケート ③ 観察 ④ 意見/感想 5 その他	⑮	無
3	効果的な媒体の考察	視覚に訴える媒体の活用について	A 保健所保健婦 1 初任者 2 中堅者 3 主任者 ④ 全般	B 市町村保健婦 1 初任者 2 中堅者 3 主任者 ④ 全般 ○C 他職種と合同	1回目 25名 2回目 18名	2日間 年2回	保健所管内 保健婦研修 会	神成 浩	静内町立静内中学校美術担当教諭	1 講義 2 演習 ③ 併用 4 その他	1 レポート 2 アンケート ③ 観察 ④ 意見/感想 5 その他	⑮	無
4	飲酒による生活障害をきたしている高齢者を地域で支えるための学習会	飲酒問題を地域保健の視点で感じられる	A 保健所保健婦 1 初任者 2 中堅者 3 主任者 ④ 全般	B 市町村保健婦 1 初任者 2 中堅者 3 主任者 ④ 全般 ○C 他職種と合同	62	1日間 年1回	保健所保健婦福祉サービスタワー調整推進会議	白坂 知信	医療法人北仁会石橋病院副院長(精神科医)	1 講義 2 演習 ③ 併用 4 その他	1 レポート 2 アンケート ③ 観察 ④ 意見/感想 5 その他	⑮	有り ① 国 2 県 3 HC
5	新任保健婦研修会	自己の達成目標と課題を明らかにできる	A 保健所保健婦 ① 初任者 2 中堅者 3 主任者 4 全般	B 市町村保健婦 ① 初任者 2 中堅者 3 主任者 4 全般 ○C 他職種と合同		1日間 年1回	保健所管内 新任保健婦 研修会	保健指導係長(先輩保健婦として)	北海道静内保健所保健指導係	① 講義 2 演習 ③ 併用 ④ その他	① レポート 2 アンケート ③ 観察 ④ 意見/感想 5 その他	⑮	無

01-09

1	ブロック研修会	保健所保健婦の業務に必要な専門知識の向上を図るとともにブロック保健所内の地域保健活動の情報交換に資する	A 保健所保健婦 1 初任者 2 中堅者 3 主任者 ④ 全般	募集 枠なし (出席 24名)	—	1日間	① 講義「感染症新法と保健所業務」 ② 報告とグループワーク「保健所の市町村支援について」	① 主任技師山口 亮 感染症対策係竹内 正人	北海道保健福祉社	① 講義 2 演習 ③ 併用 4 その他	1 レポート 2 アンケート ③ 観察 ④ 意見/感想 5 その他	⑮	無
---	---------	---	---	--------------------------	---	-----	--	---------------------------	----------	-------------------------------	---	---	---